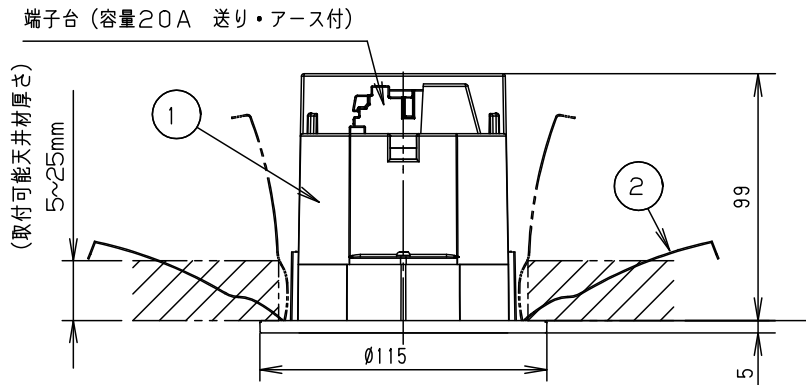
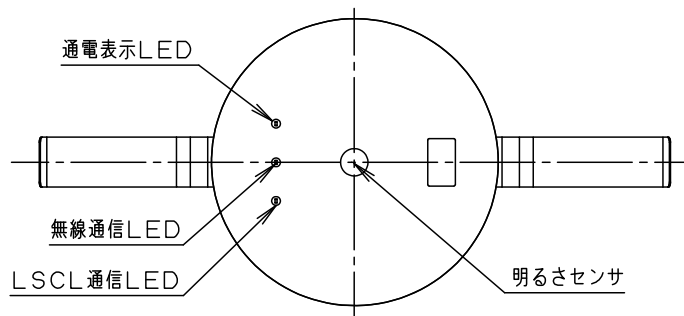


⚠ 注意：商品には寿命があります。詳細はCLX2021VAをご参照ください。



埋込穴寸法 $\phi 100^{+3}_{-0}$



仕様

定格電圧	AC100~242V 50/60Hz	通信距離	見通し35m
使用温度範囲	5~35℃ (結露なきこと)	適合コントローラ	NQ51101K
消費電力	3W以下	適合負荷	WILIA専用照明器具 (起動方式：RX、RY) (最大110台まで)
消費電流	50mA以下		
通信方式	無線通信 (中心周波数923.8~928.0MHz)	適合スイッチ子機	NK51032、NK51042 (最大4台まで)
明るさセンサ	検知範囲：設置高さ2.5mで $\phi 4$ m 検出照度：設置面で15~1000lx		

⚠ 安全上のご注意

- 一般屋内用器具です。屋外、湿気の高い場所、振動のある場所、可燃性ガスの発生する場所では使用しない。火災や感電の原因となります。
- 水平天井埋込専用器具です。壁取付や天井直置き及び傾斜天井には取り付けない。落下の原因となります。

本図面は4枚1組です。 1/4

適合ランプ	5				品番 NK51113 LS/無線信号変換 インターフェース
W・数	4				
器具質量	0.3kg	3			
特記事項	2	取付バネ	ステンレス鋼板 (t0.5)		七 奥 村 原 野 上
	1	本 体	A S A 樹 脂	クールホワイト	
	部番	部 品 名	材 質 ・ 素 材 厚	備 考	パナソニック株式会社



<無線に関するご注意>

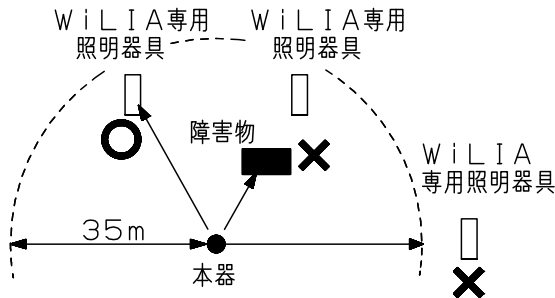
- 本器は認証済みの920MHz帯特定小電力無線設備です。
- 920MHz帯特定小電力無線設備は、分解、改造すること、また認証ラベルを剥がしたり、ラベルのないものを使用することは法律で禁じられています。
- 920MHz帯特定小電力無線設備は、外国の電波法には適合していません。日本国内のみ使用可能です。

<システム動作に関するご注意>

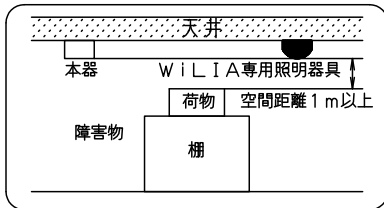
- 本器は無線通信で調光制御します。
- 最初に設定操作タブレットE×でどのW i L I A専用照明器具を制御するのか設定（ペアリング）が必要です。
- 本器とペアリングされたW i L I A専用照明器具は、ハンディライコンでの操作はできません。

<設置上のご注意>

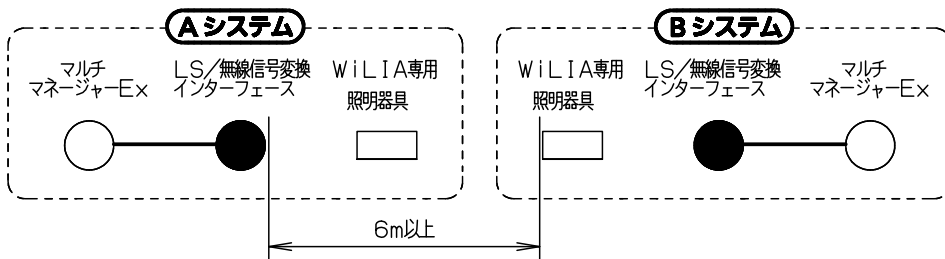
- 本器とW i L I A専用照明器具間は、必ず見通し35m以下としてください。
※見通しとは本器からW i L I A専用照明器具が直視できる状態です。



- 本器とW i L I A専用照明器具は50cm以上離して使用してください。近すぎると動作しない場合があります。
- 本器は壁、窓、天井まで達する什器や荷物、パーティションから1m以上離して使用してください。



- 複数のマルチマネージャE×システムを近接してご使用される場合、影響を受け遅延が発生する場合があります。LS/無線信号変換インターフェースは近接システムのW i L I A専用照明器具から6m以上離して設置してください。



- 下記のような設置環境では、電波通信距離が短くなります。
 - 本器とW i L I A専用照明器具間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障害物がある。
 - 本器とW i L I A専用照明器具間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
 - 本器やW i L I A専用照明器具を金属や鉄筋コンクリートなどに取り付けている。
 - 本器周辺が金属物で囲まれている。（スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど）

本図面は4枚1組です。 2/4

- 下記のような設置環境では、電波ノイズにより動作に影響を受ける場合があります。
 - 本器またはW i L I A専用照明器具の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器を動かしている。
 - 本器またはW i L I A専用照明器具の近く（10m以内）でマイクロ波治療機器を使用している。
 - テレビ・ラジオの送信所近辺の強電界地域または、近くに各種無線局がある。
 - 無線920MHz帯で通信する機器がある。（電子タグ機器、スマートメーターなど）

品番	NK51113
LS/無線信号変換 インターフェース	
七 奥 村	
原 野 上	

パナソニック株式会社

<本器設置上のご注意>

1. 設置面照度が約15~1000 [lx] となるような明るさセンサ検知範囲内の反射率環境としてください。
設置面照度が約15 [lx] を下回るか、約1000 [lx] を超える場合、明るさ設定をすることができません。
2. 明るさセンサ検知範囲が制御器具を重点的にカバーする場所にしてください。
多数灯の照明器具を一括制御しますが、制御は明るさセンサ検知範囲内からの反射光で行っていますので、制御単位の検討には十分配慮してください。（下図参照）※なお、制御単位は、設定操作用タブレットE×より設定可能です。

図1

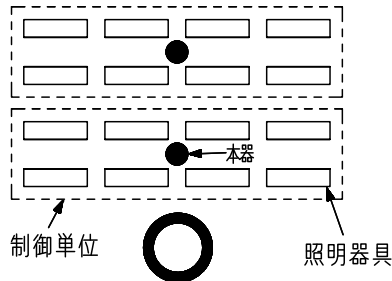
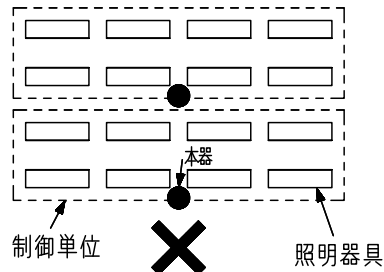


図2



3. 昼光利用のため、本器を窓際に設置する場合は、窓からの距離を（天井高さ÷1.3）m以上離してください。
窓に近づけて設置すると明るさセンサが昼光を直接感知し、照明器具の出力を抑え過ぎてしまう原因となります。
4. 図4のように本器を設置すると、窓から離れた場所では照度が不足するおそれがありますので、図3のように窓から離れるにつれて本器を複数台設置することをおすすめします。

図3

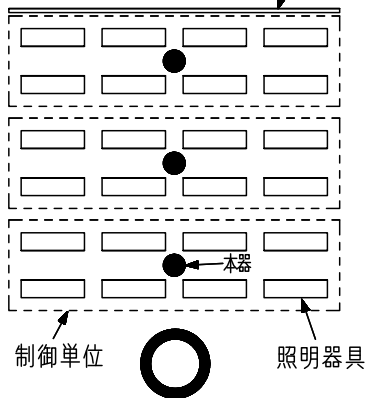
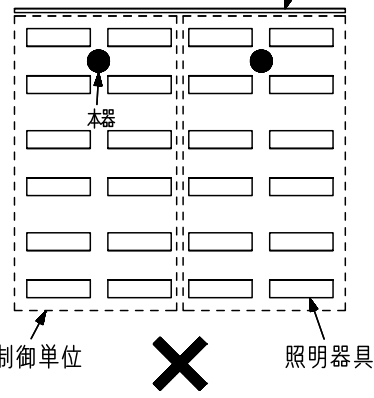


図4



5. 明るさセンサ検知範囲内にロッカーなどの高い什器が配置された場合、検知範囲内の反射率が変化するため、制御したい場所の明るさを適正に制御できない場合があります。
6. 本器が壁面やパーティション近傍などに設置された場合、壁面やパーティションなどの反射光の影響を受け、制御したい場所の明るさを適正に制御できない場合があります。
7. 本器の制御単位以外の照明器具からの光がセンサ検知範囲内に照射したり、空調などで照明器具の明るさが変化したりすると、制御したい場所の明るさを適正に制御できない場合があります。

<明るさ制御のご注意>

1. 多数灯を一括で制御しますが、明るさセンサにより観測している照度は明るさセンサ検知範囲内（設置高さ2.5mでφ4m）ですので、その他の範囲は設定照度から外れることがあります。
2. 明るさセンサ検知範囲内の反射率が大幅に変化する際（人が密集する場合など）には光出力が変化することがあります。
3. 取り付けされる環境（天井、壁、床などの反射率、外光の強弱など）によっては、照明器具の光出力にバラツキが生じ輝度ムラが生じることがありますが、異常ではありません。
4. 自動運転時の明るさ基準値の設定は、什器などが搬入された最終使用環境において行ってください。

什器などの搬入前のオープンスペースで明るさ設定を行っても、什器などが搬入されるとセンサ検知範囲内の反射率環境が変化してしまい、設定した明るさが変化してしまいますので、明るさの再設定が必要となります。

本図面は4枚1組です。 3/4

品番
NK51113
LS/無線信号変換
インターフェース

七 奥 村
原 野 上

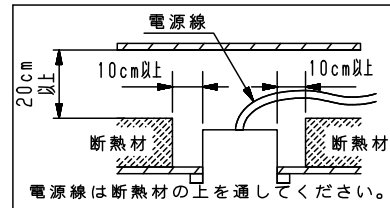
パナソニック株式会社



⚠ 注意：商品には寿命があります。詳細はCLX2021VAをご参照ください。

<使用・施工上のご注意>

- 適合外のコントローラ、スイッチ子器および照明器具とは接続できません。
- 旧商品（NK51011）を含めたシステムとの互換性はありません。
- 本システムは屋内専用です。屋外では使用しないでください。
- 保守・メンテナンス時に電源を遮断できるように、本器とWILIA専用照明器具の電源システムを必ず分けてください。
- 送信電波が影響を与える可能性がありますので、安全管理のため、WILIA専用照明器具と本器はペースメーカーや植込み型除細動器、医療電気機器等から22cm以上離して使用してください。
- 取付天井の板厚は5～25mmになります。
- ロックウールなどの柔らかい天井に取り付けしないでください。天井材の破損や器具ズレの原因となります。
- 断熱材・防音材・造営材などと右図のような空間を設けて施工してください。電源線は断熱材の上を通してください。



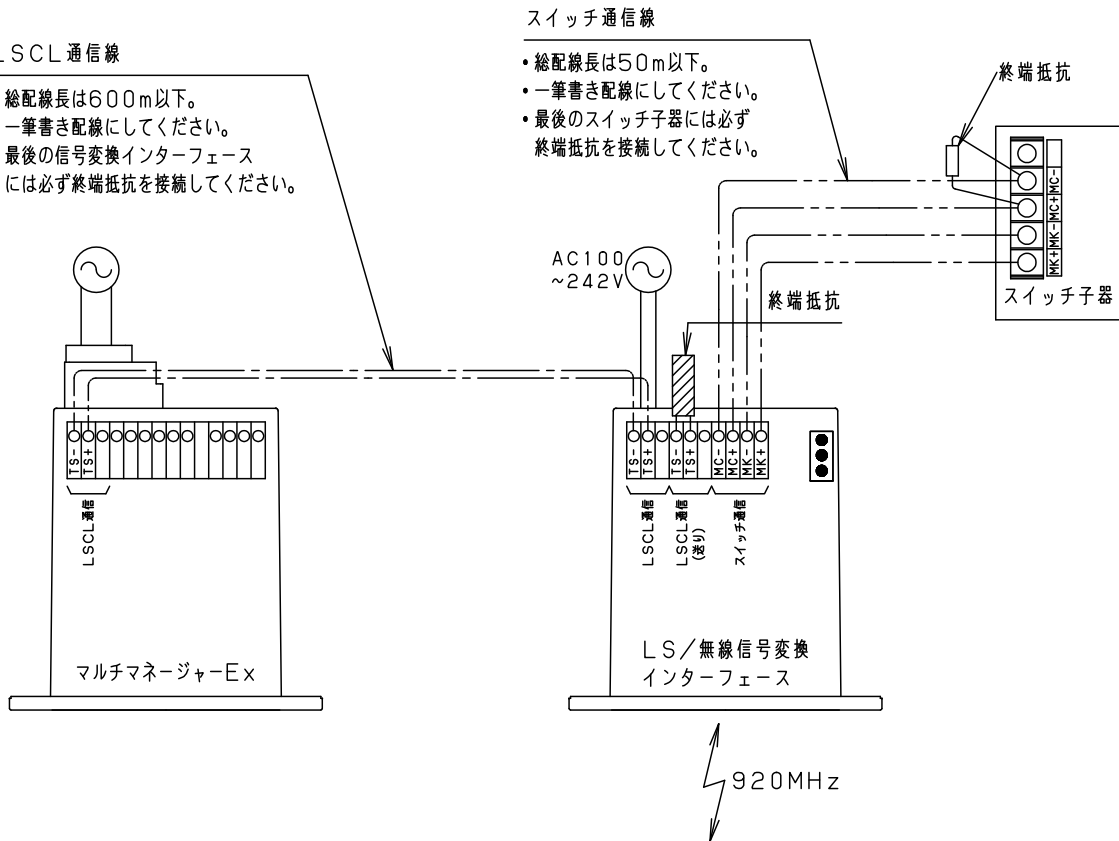
<結線方法>

LSCL 通信線

- 総配線長は600m以下。
- 一筆書き配線にしてください。
- 最後の信号変換インターフェースには必ず終端抵抗を接続してください。

スイッチ通信線

- 総配線長は50m以下。
- 一筆書き配線にしてください。
- 最後のスイッチ子器には必ず終端抵抗を接続してください。



本図面は4枚1組です。 4/4

[適合電線]

- 電源線 : $\phi 1.6$ または $\phi 2.0$ 銅単線
- LSCL 通信線 : FCPEV (CPEV相当) $\phi 0.9$ または $\phi 1.2 \times 1$ ペア
- スイッチ通信線 : FCPEV (CPEV相当) $\phi 0.9$ または $\phi 1.2 \times 2$ ペア

品番
NK51113
LS/無線信号変換
インターフェース

七 奥 村
原 野 上

パナソニック株式会社

